

I.S.P GANG ADAPTER GA-108

サンプルソフト説明書



アイフォーコム京栄株式会社

目次

1. 概要-----	3
2. サンプルソフトについて-----	3
3. 画面構成-----	4
4. 使用方法(ページ選択及び書込み開始コマンド送信) -----	5
5. 使用方法(その他コマンド送信) -----	6
6. サンプルソフト画面/GA-108通信仕様対応表-----	7
付録 i .GA-108通信仕様-----	8
付録 ii .I.S.P-300シリーズ通信仕様-----	10
改訂履歴-----	14

1. 概要

本書は I.S.P Gang Adapter GA-108 用ホストコントローラーのサンプルソフトの説明書です。
サンプルソフトの概要と、簡単な使い方を記載しています。

2. サンプルソフトについて

本サンプルソフトは Windows 上で動作するアプリケーションソフトです。
プロジェクトを同梱していますので、お客様のニーズにあわせてご利用ください。

動作必要環境：.NET Framework 4 Client Profile

作成環境：Visual Studio 2015

使用言語：Visual Basic 14

インストーラーはありません。

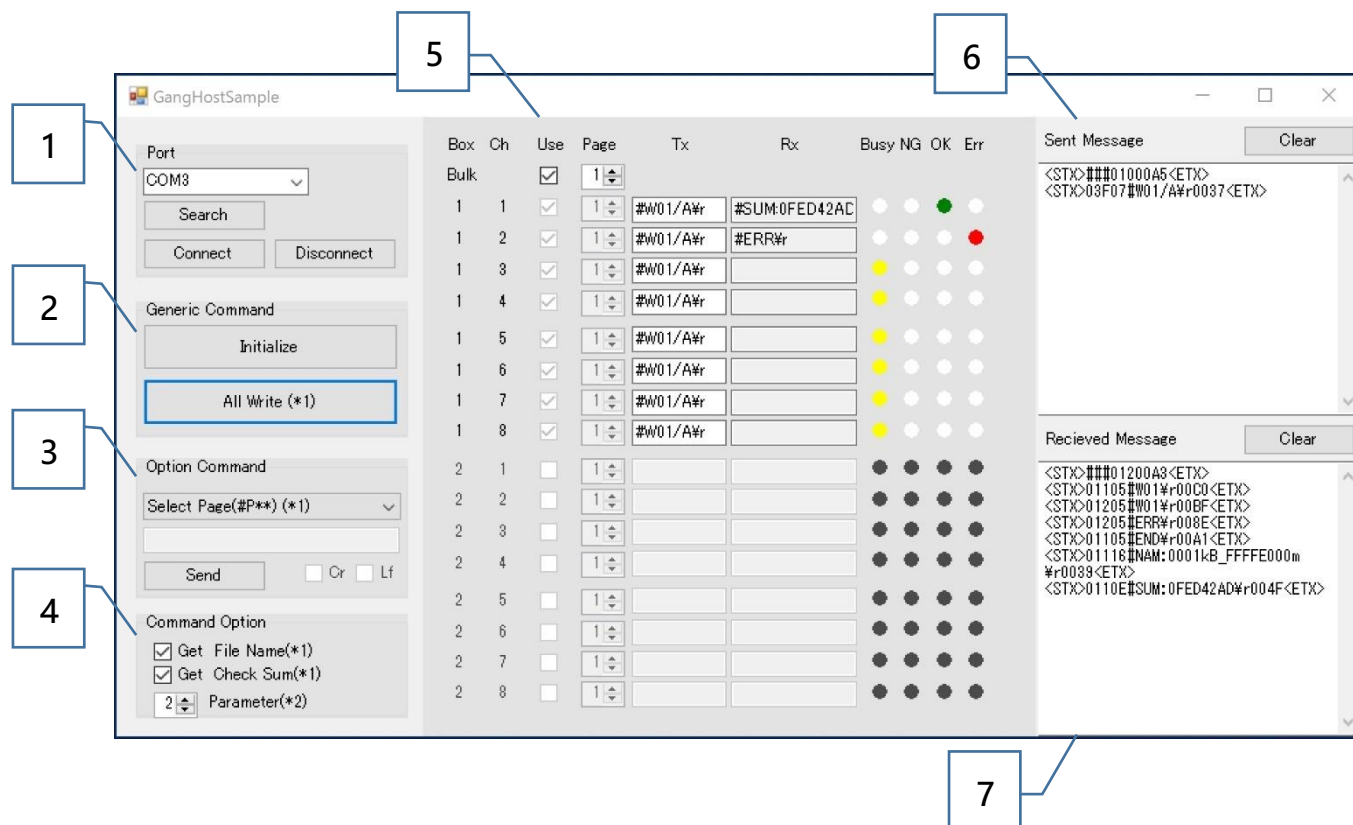
本サンプルソフトを起動する場合、下記パスにありますファイルを実行してください。

[./GA-108/GangSample/bin/Release/GA100SampleProgram.exe]

次ページより、実行ファイルの使い方を説明します。

尚、サンプルソフトのコードについての問い合わせは誠に勝手ながらお断りさせて頂いております。

3. 画面構成



1. シリアルポート設定パネル
2. 初期化・ページ書込みコマンド送信パネル
3. その他コマンドパネル
4. コマンドオプション設定パネル
5. 送信設定・モニタパネル
6. 送信電文表示パネル
7. 受信電文表示

シリアルポートへの接続などの設定を行います。

ボタン押下で初期化コマンド、ページ書込みコマンドの送信が出来ます。

I.S.P-300 シリーズで対応しているコマンドと任意のコマンドを送信できます。

コマンド送信時のオプションを設定できます。

送信対象の選択とページの選択ができます。

チャンネル毎の送受信電文と状態をモニタ出来ます。

送信した電文を表示します。

受信した電文を表示します。

4. 使用方法(ページ選択及び書込み開始コマンド送信)

1. シリアルポートを設定します。

1 シリアルポート設定パネルで設定を行います。

ドロップダウンメニューから GA-108 が接続されているポート番号を選択して下さい。(*1)

その後 Connect ボタンを押下して接続します。

2. GA-108 を初期化します。

2 初期化・ページ書込みコマンド送信パネル内の[Initialize]ボタンを押下して下さい。初期化コマンドが GA-108 に送信されます。

初期化コマンド送信後、GA-108 の台数にあわせて送信設定・モニタパネルが有効化されます。(*2)(*3)

3. 送信したい Ch を選択します。または Bulk を選択します。

5 送信設定・モニタパネル内 Use チェックボックスの、コマンド送信を行いたい Ch をチェックして下さい。

Box 番号はシリアルポートが接続されている GA-108 が 1 番、カスケード接続されている GA-108 が 2 番になります。

Ch 番号は GA-108 に刻印されている番号と対応しています。

Bulk の項目にチェックをすると一括転送モードになり、他の Use チェックボックスとページ選択ボックスが無効になります。(*4)

4. ページ番号を選択します。

書込みを行いたいページ番号を **5** 送信設定・モニタパネル内のページ番号選択ボックスを使って選択します。

Bulk にチェックした場合は Bulk 項目のページ番号を選択して下さい。

そうでない場合、Ch 毎にページ番号を選択して下さい。

5. All Write ボタンを押します。

2 初期化・ページ書込みコマンド送信パネル内の[All Write]ボタンを押下して下さい。

3,4 の設定に基づいてページ書込みコマンドを送信します。(*5)

6 Sent Message ボックス内に送信されたコマンドが表示されます。また **5** 送信設定・モニタパネル内の各 Ch 送信ボックスに、Ch に対する送信メッセージが表示されます。

6. 結果を確認します。

5 送信設定・モニタパネルで結果を確認します。

送信から結果を受信するまで Busy ランプが黄点灯します。(*6)

書込みが成功した場合 OK ランプが緑点灯します。

書込み失敗時は、Err ランプが赤点灯します。

7 Received Message ボックス内に受信メッセージが表示されます。また **5** 送信設定・モニタパネル内の各 Ch 受信ボックスに、Ch から来た受信メッセージが表示されます。

*1. ポートが表示されていない場合、GA-108 を接続した上[Search]ボタンを押下してください。

*2. 有効化されない場合、初期化に失敗している可能性があります。以下のことを確認してください。

・選択した COM ポートは GA-108 のポートか確認してください。

・GA-108 にターミネータコネクタが接続されているか確認してください。

*3. GA-108 が 1 台接続されている場合、Box 番号が 1 の項目のみ有効化されます。GA-108 がカスケード接続されている場合、Box 番号が 2 の項目まで有効化されます。

*4. Bulk をチェックした場合、コマンド送信時に送られる電文は 1 つになります。

Bulk にチェックしていない場合、各ポートに対して個別で電文が送信されます。

*5. オプションでファイル名/サム値を取得することが出来ます。詳しくは[5. 書込みオプションの設定]をご覧ください。

*6. I.S.P が接続されていないポートは応答がないため、Busy 状態が継続します。

5. 使用方法(その他コマンド送信)

1. 初期化～ページ番号設定を行います。

ページ選択及び書き込み開始コマンド送信時と同様の手順で、ページ番号設定まで行ってください。

2. 送信したいコマンドを選択します。

3 その他コマンドパネル内ドロップダウンメニューから送信したいコマンドを選択して下さい。

I.S.P-300 シリーズで対応しているコマンド(*1)と任意コマンドから選択できます。
(*2)

任意コマンド(User Command)を選択した場合、テキストボックスと Cr,Lf チェックボックスが有効化されます。

送信したいコマンドを入力し、その後に付与したい改行コードをチェックしてください。

3. コマンドを送信します。

その他コマンドパネル内の[Send]ボタンを押下して下さい。

GA-108 にコマンドが送信されます。

4. 結果の確認

ページ選択及び書き込み開始コマンド送信時と同様に、結果が表示されます。

- ・ 書き込みオプションの設定

一部コマンドはファイルネーム取得/チェックサム値取得のオプションに対応しています。(*3)

4 コマンドオプション設定パネル内の Get File Name/Get Check Sum のチェックボックスをチェックすると、対応しているコマンドにオプションが付いた状態で送信されます。

また転送レート設定コマンド(Set Baud Rate(#COM*))はパラメータを 0~2 で選択できます。コマンドオプション設定パネル内のパラメータ数値選択ボックスで選択して下さい。

*1. [付録 ii .I.S.P-300 シリーズ通信仕様]参照

*2. 以下のコマンドのみ選択したページ番号が反映されます。

Select Page(#P**)	ページ選択
Page Write(#W**)	ページ選択及び書き込み開始
Verify(#V**)	ベリファイ実行
Check Sum(#SUM**)	チェックサム計算

*3. 対応コマンドは下記の通り

Select Page(#P**)	ページ選択
Write(#W)	書き込み開始
Page Write(#W**)	ページ選択及び書き込み開始

6. サンプルソフト画面/GA-108 通信仕様対応表

ホスト画面の Box/Ch と通信仕様のターミナル番号/ポート番号の対応表を記載します。

表 1 サンプルソフト/通信仕様番号対応表

サンプルソフト表記		通信仕様		電文	
Box	Ch	ターミナル 番号	ターミナル毎の ポート番号	ターミナル番号	ターミナル毎の ポート番号
1	1	1	1	0b0000 0001 (0x01) (Asc:30h 31h)	0b0001 (0x1) (Asc:31h)
1	2	1	2	0b0000 0001 (0x01) (Asc:30h 31h)	0b0010 (0x2) (Asc:32h)
1	3	1	3	0b0000 0001 (0x01) (Asc:30h 31h)	0b0100 (0x4) (Asc:34h)
1	4	1	4	0b0000 0001 (0x01) (Asc:30h 31h)	0b1000 (0x8) (Asc:38h)
1	5	2	1	0b0000 0010 (0x02) (Asc:30h 32h)	0b0001 (0x1) (Asc:31h)
1	6	2	2	0b0000 0010 (0x02) (Asc:30h 32h)	0b0010 (0x2) (Asc:32h)
1	7	2	3	0b0000 0010 (0x02) (Asc:30h 32h)	0b0100 (0x4) (Asc:34h)
1	8	2	4	0b0000 0010 (0x02) (Asc:30h 32h)	0b1000 (0x8) (Asc:38h)
2	1	3	1	0b0000 0100 (0x04) (Asc:30h 34h)	0b0001 (0x1) (Asc:31h)
2	2	3	2	0b0000 0100 (0x04) (Asc:30h 34h)	0b0010 (0x2) (Asc:32h)
2	3	3	3	0b0000 0100 (0x04) (Asc:30h 34h)	0b0100 (0x4) (Asc:34h)
2	4	3	4	0b0000 0100 (0x04) (Asc:30h 34h)	0b1000 (0x8) (Asc:38h)
2	5	4	1	0b0000 1000 (0x08) (Asc:30h 38h)	0b0001 (0x1) (Asc:31h)
2	6	4	2	0b0000 1000 (0x08) (Asc:30h 38h)	0b0010 (0x2) (Asc:32h)
2	7	4	3	0b0000 1000 (0x08) (Asc:30h 38h)	0b0100 (0x4) (Asc:34h)
2	8	4	4	0b0000 1000 (0x08) (Asc:30h 38h)	0b1000 (0x8) (Asc:38h)

付録 i .GA-108 通信仕様

制御する通信は、RS-232または、USBポートのどちらかで制御します。条件及びフォーマットは、以下になります。

1, 通信条件

ビットレート	38.4kbps
データ長	8bit
ストップビット	1bit
パリティ	なし
フロー制御	CTS/RTS

2, 通信フォーマット

通常の ISP へのシリアル通信データをそのままフォーマット中の コンテナ部分に挿入し、あて先を示すデータを前部、フラグとチェックサムを後部につけたアスキー文字列（スタートマークとエンドマークを除く）を、送信します。

バイト番号	1	2,3	4	5,6	7-	Ct+7,8	Ct+9,10	Ct+11
シンボル	St	Tm	Pt	Ct	コンテナ	Er	Sm	Et

シンボル	意味	データ長	値(h)
St	スタートマーク	1	02
Tm	ターミナル番号	2	16進2バイトASCII文字 "00"-“FF” (bitmap)
Pt	ターミナル毎のポート番号	1	16進1バイトASCII文字 "0" - “F” (bitmap)
Ct	コンテナの長さ(バイト数)	2	16進2バイトASCII文字 "00"-“30” (MAX48)
コンテナ	ISP に送信する文字列	n	
Er	エラーコード	2	16進2バイトASCII文字 "00"-“FF”
Sm	Tm から Sm 直前までのバイト和	2	16進2バイトASCII文字 "00"-“FF”(1の補数)
Et	エンドマーク	1	03

Tm (Gang ターミナル番号)	Pt(ターミナルのポート番号)	Er(エラーコード)
bit 7654 3210	bit 7654 3210	bit 7654 3210
	0000	
・--- ターミナル1宛電文	・--- ポート1宛電文	・--- フォーマット異常
・---- ターミナル2宛電文	・---- ポート2宛電文	・---- チェックサム異常
・----- ターミナル3宛電文	・----- ポート3宛電文	・----- 未使用
・----- ターミナル4宛電文	・----- ポート4宛電文	・----- 未初期化異常
・----- ターミナル5宛電文		
・----- ターミナル6宛電文		----- 未使用
・----- ターミナル7宛電文		
・----- ターミナル8宛電文		

Tm（ターミナル番号）は、1台に2個番号を持っています。またポート番号は、1ターミナルに4ポートを識別番号としています。したがって、例えば 1台目の ch.1を指定する場合 ターミナル1，ポート1を選択します。同様に、1台目の ch.7を指定する場合 ターミナル2，ポート3を選択します。(1台に ターミナル番号を2種、ポート番号を4種の構成になります)

同時にコマンドを送信する場合は、各 bitmap データをアスキー化する事で可能になります。

(例)ターミナル3,4,6番に同時送信する場合、0100 1100 b = 2Ch → ‘2’ ‘C’ → 32h 43h となります

3, 接続確認

本体が、接続番号を得るために電源投入後初回に接続確認用の特別なコマンド電文を送信する必要があります。(本体には、ターミネータを必ず装着下さい、カスケード接続の場合は、最後尾にターミネータを装着下さい)

ホスト発行	St	#	#	#	01	0	Er	Sm	Et
	02	23	23	23	30	31	30	30	41 35 03
戻り値	St	#	#	#	01	n	Er	Sm	Et
	02	23	23	23	30	31	3x	30 30	41 33 03

↑この値が接続された本体を表します。x=2の場合 1台、1～8ch、
x=4の場合 2台 1～16chの 制御が可能です。
例の 41 33 は、チェックサムなのでターミナル個数により変化します。

接続確認が終了したら READY LED（ミドリ）が点灯します。

4. 通信電文例

ギャングアダプを1台接続し、I.S.P-310のPage Write コマンド#W**を用いて書き込みを行う例を以下に示します。

注) スタートマーク 02h を<STX>、エンドマーク 03h を<ETX>、キャリッジリターン 0Dh を<CR>と表記します。

(1) 接続確認コマンド

送信: <STX>###0100A5<ETX>

受信: <STX>###01200A3<ETX>

備考: 1 台に 2 個のターミナルを内蔵しているのでコンテナに '2' が返信されます

(2) 通常のコマンド

・Ch1 と Ch2 に接続された I.S.P-310 それぞれにページ1の書き込みを行う場合

送信: <STX>01105#W01<CR>00C0<ETX>

説明: Tm = 00000001b = 01h →アスキー化 '0' '1'

: Pt = 00000001b = 01h →アスキー化 '1'

<STX>01205#W01<CR>00BF<ETX>

説明: Tm = 00000001b = 01h →アスキー化 '0' '1'

: Pt = 00000010b = 02h →アスキー化 '2'

受信: <STX>01105#W01<CR>00C0<ETX>

<STX>01205#W01<CR>00BF<ETX>

<STX>01105#END<CR>00A1<ETX>

<STX>01205#END<CR>00A0<ETX>

・Ch1 と Ch2 に接続された I.S.P-310 に同時にページ1の書き込みを行う場合

送信: <STX>01305#W01<CR>00BE<ETX>

説明: Tm = 00000001b = 01h →アスキー化 '0' '1'

(ターミナル 1 宛のみ)

: Pt = 00000011b = 03h →アスキー化 '3'

(1, 2 番の 2 つのポートを指定)

受信: <STX>01105#W01<CR>00C0<ETX>

<STX>01205#W01<CR>00BF<ETX>

<STX>01105#END<CR>00A1<ETX>

<STX>01205#END<CR>00A0<ETX>

備考: 同時送信時も受信は個別になります

・Ch1 と Ch5 に接続された I.S.P-310 に同時にページ1の書き込みを行う場合

送信: <STX>03105#W01<CR>00BE<ETX>

説明: Tm = 00000011b = 01h →アスキー化 '0' '3'

(1, 2 番の 2 つのターミナルを指定)

: Pt = 00000001b = 03h →アスキー化 '1'

(各ターミナルの 1 番のポートを指定)

受信: <STX>01105#W01<CR>00C0<ETX>

<STX>01205#W01<CR>00BF<ETX>

<STX>01105#END<CR>00A1<ETX>

<STX>01205#END<CR>00A0<ETX>

備考: 同時送信時も受信は個別になります

4. 制限事項

ギャングアダプタは 4 ポートで 1 組のターミナルを構成しますので、同時指定の送信は各ターミナルで共通のポート指定となります。ターミナル毎にポート指定が異なる設定での同時送信はできません(例:Ch1,Ch2,Ch5 の同時送信)。この場合は2回に分けて送信を行う必要があります。

ギャングアダプタは分岐と収集のみ行い、コマンドの結果判定を行いません。書き込みの終了等の判定はホスト側で行ってください。

付録 ii I.S.P-300 シリーズ通信仕様

表 2 I.S.P-300 シリーズコマンド一覧

コマンド	新コマンド		旧コマンド		I.S.P-200 互換コマンド	
	送信コマンド	コマンド応答	送信コマンド	コマンド応答	送信コマンド	コマンド応答
ページ選択 ※5	#P01 ~ #P20 #P21 ~ #P30	#P01 ~ #P20 #P21 ~ #P30	\$P01 ~ \$P20 \$P21 ~ \$P30	\$P01 ~ \$P20 \$P21 ~ \$P30	@PG1 ~ @PG8	@PG1 ~ @PG8
書き込み開始 ※5	#R	#R #NG ※1, ※2 #END ※4 #ERR ※4	\$R	\$R @NG ※1, ※2 @END ※4 @ERR ※4	@WRT	@WRT @NG ※1, ※2 @END ※4 @ERR ※4
ページ選択及び書き込み開始 ※5	#W01 ~ #W20 #W21 ~ #W30	#W01 ~ #W20 #W21 ~ #W30 #NG ※1, ※2 #END ※4 #ERR ※4	\$W01 ~ \$W20 \$W21 ~ \$W30	\$W01 ~ \$W20 \$W21 ~ \$W30 @NG ※1, ※2 @END ※4 @ERR ※4		
書き込み中断	#A	#NG ※3 #END ※4 #ERR ※4	\$A	@NG ※3 @END ※4 @ERR ※4	@STP	@END ※4 @ERR ※4
ベリファイ ON	#V1	#V1 #NG ※1	\$V1	\$V1 @NG ※1	@VON	@VON
ベリファイ OFF	#V0	#V0 #NG ※1	\$V0	\$V0 @NG ※1	@VOF	@VOF
ベリファイ実行	#VP01 ~ #VP20 #VP21 ~ #VP30	#NG ※6 #END ※4 #ERR ※4				
チェックサム計算 ※xxxxxxx はチェックサ ム値	#SUM01~ #SUM20 #SUM21~ #SUM30	#SUM:xxxxxxx #NG ※6 #ERR				
転送レート設定	#COM2 #COM1 #COM0	#COM2 #COM1 #COM0 #NG ※1				

- ※1 書き込み実行中の場合、NG 応答になります。
- ※2 未使用ページ選択の場合、NG 応答になります。
- ※3 アイドル時（非書き込み時）の場合、NG 応答になります。
- ※4 書き込み完了後、またはエラー終了後に結果を送信します。
- ※5 新コマンドのみファイル名、チェックサムの出力するオプションパラメータが有ります。
オプションパラメータには以下のパラメータが有ります。
- /F : 選択ページ ファイル名出力
- /S : 選択ページ チェックサム出力
- /A : 選択ページ ファイル名、チェックサム出力
- ※6 未使用ページを指定した場合は NG 応答になります。

[新コマンド (旧コマンド)]

1. ページ選択コマンド：

例： PC

‘#P01’ (‘\$P01’)

[P**] (*=1~30 21~30 は SD0~9 に対応) ※オプションパラメータは新コマンドのみ対応

I.S.P-300 シリーズ

――→ ページ 1 を指定

←―― ‘#P01’ or ‘#NG’ (‘\$P01’ or ‘@NG’)

ページ 1 選択又は NG

‘#P01/F’

――→ ページ 1 を指定 および ファイル名を出力

←―― ‘#P01’ or ‘#NG’ (‘\$P01’ or ‘@NG’)

ページ 1 選択又は NG

←―― ‘NAM:FileName.mot

‘#P01/S’

――→ ページ 1 を指定 および チェックサムを出力

←―― ‘#P01’ or ‘#NG’ (‘\$P01’ or ‘@NG’)

ページ 1 選択又は NG

←―― ‘SUM:xxxxxxx

‘#P01/A’

――→ ページ 1 を指定 および ファイル名とチェックサムを出力

←―― ‘#P01’ or ‘#NG’ (‘\$P01’ or ‘@NG’)

ページ 1 選択又は NG

←―― ‘NAM:FileName.mot

←―― ‘SUM:xxxxxxx

2. 書き込み開始コマンド：

例： PC

‘#R’ (‘\$R’)

[R] ※オプションパラメータは新コマンドのみ対応

I.S.P-300 シリーズ

――→ 書き込み指示

←―― ‘#R’ or ‘#NG’ (‘\$R’ or ‘@NG’)

書き込み開始又は NG

：

←―― ‘#END’ or ‘#ERR’ (‘@END’ or ‘@ERR’)

END：正常終了

ERR：書き込みエラー又はベリファイエラー

‘#R/F’

――→ 書き込み指示 および ファイル名を出力

←―― ‘#R’ or ‘#NG’ (‘\$R’ or ‘@NG’)

書き込み開始又は NG

：

←―― ‘#END’ or ‘#ERR’ (‘@END’ or ‘@ERR’)

END：正常終了

←―― ‘NAM:FileName.mot

ERR：書き込みエラー又はベリファイエラー

‘#R/S’

――→ 書き込み指示 および チェックサムを出力

←―― ‘#R’ or ‘#NG’ (‘\$R’ or ‘@NG’)

書き込み開始又は NG

：

←―― ‘#END’ or ‘#ERR’ (‘@END’ or ‘@ERR’)

END：正常終了

←―― ‘SUM:xxxxxxx

ERR：書き込みエラー又はベリファイエラー

‘#R/A’

――→ 書き込み指示 および ファイル名とチェックサムを出力

←―― ‘#R’ or ‘#NG’ (‘\$R’ or ‘@NG’)

書き込み開始又は NG

：

←―― ‘#END’ or ‘#ERR’ (‘@END’ or ‘@ERR’)

END：正常終了

←―― ‘NAM:FileName.mot

ERR：書き込みエラー又はベリファイエラー

←―― ‘SUM:xxxxxxx

[新コマンド (旧コマンド)]

3. ページ選択及び書き込み開始コマンド：

[W**] (*=1～30 21～30 は SD0～9 に対応) ※オプションパラメータは新コマンドのみ対応

例： PC I.S.P-300 シリーズ

‘#W01’(‘\$W01’) → ページ選択及び書き込み指示

← ‘#W01’ or ‘#NG’(‘\$W01’ or ‘@NG’) ページ 1 選択,書き込み開始又は NG

：

← ‘#END’ or ‘#ERR’(‘@END’ or ‘@ERR’) END：正常終了

ERR：書き込みエラー又はベリファイエラー

‘#W01/F’ → ページ選択及び書き込み指示 および ファイル名を出力

← ‘#W01’ or ‘#NG’(‘\$W01’ or ‘@NG’) ページ 1 選択,書き込み開始又は NG

：

← ‘#END’ or ‘#ERR’(‘@END’ or ‘@ERR’) END：正常終了

← ‘#NAM:FileName.mot ERR：書き込みエラー又はベリファイエラー

‘#W01/S’ → ページ選択及び書き込み指示 および チェックサムを出力

← ‘#W01’ or ‘#NG’(‘\$W01’ or ‘@NG’) ページ 1 選択,書き込み開始又は NG

：

← ‘#END’ or ‘#ERR’(‘@END’ or ‘@ERR’) END：正常終了

← ‘#SUM:xxxxxxx ERR：書き込みエラー又はベリファイエラー

‘#W01/A’ → ページ選択及び書き込み指示 および ファイル名とチェックサムを出力

← ‘#W01’ or ‘#NG’(‘\$W01’ or ‘@NG’) ページ 1 選択,書き込み開始又は NG

：

← ‘#END’ or ‘#ERR’(‘@END’ or ‘@ERR’) END：正常終了

← ‘#NAM:FileName.mot ERR：書き込みエラー又はベリファイエラー

← ‘#SUM:xxxxxxx

4. 書き込み中断コマンド：

[A]

例： PC I.S.P-300 シリーズ

‘#A’(‘\$A’) → 中断指示

← ‘#END’ or ‘#NG’(‘@END’ or ‘@NG’) 中断は NG

5. ベリファイ ON/OFF コマンド：

[V*]

例： PC I.S.P-300 シリーズ

‘#V1’(‘\$V1’) → ベリファイ有、指示

← ‘#V1’ or ‘#NG’(‘\$V1’ or ‘@NG’) ベリファイ有又は NG

‘#V0’(‘\$VOF’) → ベリファイ無、指示

← ‘#V0’ or ‘#NG’(‘\$V0’ or ‘@NG’) ベリファイ無又は NG

6. ベリファイ実行コマンド：

[VP] ※新コマンドのみ対応

例： PC I.S.P-300 シリーズ

‘#VP01’ → 指定ページのベリファイ実行指示 (対応 CPU のみ実行可能)

← ‘#END’ or ‘#NG’(‘@END’ or ‘@NG’) 中断は NG

7. チェックサム計算コマンド：

[SUM] ※新コマンドのみ対応

例： PC I.S.P-300 シリーズ

‘#SUM01’ → 指定ページのチェックサムを計算

← ‘#SUM:xxxxxxx

NG : 未使用ページ選択

ERR：ページリードエラー

8. 転送レート設定コマンド： [COM] ※新コマンドのみ対応
 例： PC I.S.P-300 シリーズ
 ‘#COM2’ → 転送レート設定（Hi-Speed）
 ← ‘#COM2’ or ‘#NG’ 転送レート設定(Hi-Speed) 又は NG
 ‘#COM1’ → 転送レート設定（Auto）
 ← ‘#COM1’ or ‘#NG’ 転送レート設定(Auto) 又は NG
 ‘#COM0’ → 転送レート設定（Fix）
 ← ‘#COM0’ or ‘#NG’ 転送レート設定(Fix) 又は NG

旧コマンド] 注) ページ指定は 1～8 ページのみです。

1. ページ選択コマンド： [PG*] (*=1～8)
 例： PC I.S.P-300 シリーズ
 ‘@PG1’ → ページ 1 を指定
 ← ‘@PG1’ or ‘@NG’ ページ 1 選択又は NG

2. 書込み開始コマンド： [WRT]
 例： PC I.S.P-300 シリーズ
 ‘@WRT’ → 書込指示
 ← ‘@WRT’ or ‘@NG’ 書込開始又は NG
 :
 ← ‘@END’ or ‘@ERR’ END：正常終了
 ERR：書込みエラー又はベリファイエラー

3. 書込み中断コマンド： [STP]
 例： PC I.S.P-300 シリーズ
 ‘@STP’ → 中断指示
 ← ‘@END’ or ‘@NG’ 中断又は NG

4. ベリファイ ON/OFF コマンド： [VON],[VOF]
 例： PC I.S.P-300 シリーズ
 ‘@VON’ → ベリファイ有、指示
 ← ‘@VON’ or ‘@NG’ ベリファイ有又は NG
 ‘@VOF’ → ベリファイ無、指示
 ← ‘@VOF’ or ‘@NG’ ベリファイ無又は NG

IF 選択の制限

書込み IF 選択で RS232C を選択頂いた場合は正常動作致しませんのでご注意ください。

使用電源の制限

電池動作時リモートインターフェースは動作致しませんのでご注意ください。

改訂履歴

版番号	Rev	日付	改訂概要
1	1.00	2017/12/1	新規

I.S.P GANG ADAPTER GA-108 サンプルソフト 説明書

42 - 459 - 8010

発行日・版数

2017 年 12 月 1 日

第 1 版

著者発行所

アイフォーコム京栄 株式会社

〒186-0011 東京都国立市谷保5826-1

TEL 042-577-3955

FAX 042-580-7222

Mail kyoei@k-kyoei.jp

URL <http://www.k-kyoei.jp>

- 本器又は本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されたデータ、回路の使用に起因する第三者の特許権その他の権利については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はおとりかえいたします。
- 本書にある商品名、名称などは、各社の商標または登録商標です。